

(案)

資料2

令和6年6月 日

寒川町長 木村 俊雄 様

寒川町まちづくり推進会議
会 長 杉 下 由 輝

第8期寒川町まちづくり推進会議報告書

(1) 第8期寒川町まちづくり推進会議について

第8期寒川町まちづくり推進会議は、令和4年7月から令和6年6月までの2年間、寒川町自治基本条例に基づく協働のまちづくりの推進について、令和4年度に4回、令和5年度に4回、令和6年度に1回、計9回の会議を開催し議論を重ねてまいりました。

ここで私たちが任期を終えるにあたり、検討・実施した内容について総括し、町への提言も含めて、次のとおり報告いたします。本報告が町の目指す、町民と町が協働して進めるまちづくりの一助になることを期待します。

(2) 第8期寒川町まちづくり推進会議の取り組み内容について

① 協働の見える化「シンボルマーク」について

寒川町のあらゆる場所で行われているが、町民の関心が低い「協働」について、町民が身近に感じられるまちづくりを推進するため、協働の「シンボルマーク」を公募しました。町での協働事業のPR等に活用できるシンボルマークを広く募集し、最優秀賞をはじめ、各賞を選考しました。詳細については、別紙 協働の見える化「シンボルマーク」に係る報告書をご参照ください。

② 公募委員サロンについて

寒川町では審議会等の公募委員を随時募集していますが、公募委員の枠が埋まらない審議会等が散見される状況です。そこで、公募委員としてのやりがいや、委員になったきっかけ等について、公募委員同士で話し合い、横のつながりを作り、公募委員を増やす取り組みとして、「公募委員サロン」を開催しました。内容の詳細については、別紙 公募委員サロンに係る報告書をご参照ください。

③ その他

第7期寒川町まちづくり推進会議にて、オンラインでの開催を検討・実施した「まちづくり懇談会」について、第8期寒川町まちづくり推進会議では、令和4、5年度にハイブリットで開催する事とし、寒川町まちづくり推進会議会長がコーディネーターを務めました。なお令和5年度はオンライン参加の希望者がいなかったため、対面開催となりました。詳細については、別紙 第25回まちづくり懇談会の報告について・第26回まちづくり懇談会の報告についてをご参照ください。

寒川町まちづくり推進会議から、わたしの提案制度褒賞審査会、寒川町協働事業選考委員会、寒川町指定管理者選定委員会にそれぞれ委員を推薦し、推薦された委員が各委員会等の委員を務めました。

(3) まとめ・提言

①協働の見える化「シンボルマーク」

第8期寒川町まちづくり推進会議において、公募、選定した「協働」のシンボルマークについて、今後、町が協働事業のPR等に活用し、町民が協働を身近に感じられるまちづくりを推進し、活発な協働事業につながることを期待します。

② 公募委員サロン

公募委員サロンを開催する中で、公募委員を知らない方や興味のない方に対するアプローチ方法について課題が残ったため、今後は町と共に周知・企画・運営を進めていくことを期待します。

各項目の詳細については、別添の報告書をご覧ください。

寒川町まちづくり推進会議では、取り組むべき議題を決めていく過程で「協働」に対する認知度の低さ、公募委員として審議会等に参加できることの周知不足などが課題としてあがり、第8期の議題として取り組むことになりました。

本報告が、町の基本理念である「町民と町の協働によるまちづくり」の実現の一助となることを祈念し、町における協働の取り組みの参考としていただくことを期待いたします。

第8期寒川町まちづくり推進会議 検討経過

開催日・開催場所	議題・会議概要等
第1回 令和4年7月26日(火) ハイブリット開催(自宅等、 又は議会第2会議室)	○会長・副会長の選出 ○今期推進会議の調査・協議事項
第2回 令和4年10月14日(金) 東分庁舎第1・2会議室	○協働の見える化「シンボルマーク」の作成について ○公募委員サロン(仮称)の開催について
令和4年11月12日(土) オンライン	○第25回まちづくり懇談会でのコーディネーター
第3回 令和4年12月22日(木) 町民センター視聴覚室	○協働の見える化「シンボルマーク」の作成について ○公募委員サロン(仮称)の開催について
第4回 令和5年2月15日(水) 町民センター講義室	○協働の見える化「シンボルマーク」の作成について ○公募委員サロン(仮称)の開催について
第5回 令和5年5月18日(木) 町民センター視聴覚室	○協働の見える化「シンボルマーク」の作成について ○公募委員サロンの開催について
令和5年5月23日(火) 町民センター展示室1	○公募委員サロンの開催
第6回 令和5年9月26日(火) 町民センター展示室1	○協働の見える化「シンボルマーク」の選考について ○公募委員サロン 実施報告書(案)について
令和5年11月12日(日) 東分庁舎第1会議室	○第26回まちづくり懇談会でのコーディネーター
第7回 令和5年12月22日(金) 町民センター展示室1	○協働の見える化「シンボルマーク」の選考について ○公募委員サロンに係る報告書(案)について
第8回 令和6年2月23日(金・祝) 町民センター展示室2	○「協働」のシンボルマーク 表彰式の開催 ○第8期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について ○協働の見える化「シンボルマーク」に係る報告書(案)について ○公募委員サロンに係る報告書(案)について
第9回 令和6年5月30日(木)	○第8期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について

第8期寒川町まちづくり推進会議 委員名簿

(任期：令和4年7月1日から令和6年6月30日まで)

1	委員	選出区分等	備考
1	杉下 由輝	学識経験を有する者 (湘南総合研究所代表)	会長 (協)(指)
2	橋口 元	町民 (一般公募)	副会長 (協)
3	山下 美智子	町民 (一般公募)	(協～R5. 6. 30)
4	中島 光子	町民 (一般公募)	(わ R4. 12. 22～)
5	星 恵美子	町民 (一般公募)	(協 R5. 7. 1～)
6	小菅 克洋	町民 (一般公募)	
7	大関 博之	町教育委員会委員	第2回会議まで
8	大森 博明	町教育委員会委員	第3回会議から
9	相田 孝	町農業委員会委員	(わ)
10	金子 巖	町自治会長	
11	金子 一茂	町商工業関係者	
12	吉田 路夫	町勤労者の代表	第6回会議まで
13	山元 博文	町勤労者の代表	第7回会議から
14	金子 洋一	町PTA連絡協議会会員	第5回会議まで
15	蛭田 昌	町PTA連絡協議会会員	第6回会議から
16	庭野 珠樹	町民生委員児童委員	第2回会議まで (わ～R4. 12. 21)
17	吉川 京子	町民生委員児童委員	第3回会議から
18	小泉 光子	町女性団体の構成員	
19	織田 敦	町青年会議所の構成員	
20	安田 震一	学識経験を有する者 (多摩大学研究開発機構長)	

(協)：寒川町協働事業選考委員 (指)：寒川町指定管理者選定委員 (わ)：わたしの提案制度褒賞審査会委員

協働の見える化「シンボルマーク」に係る報告書

寒川町まちづくり推進会議
会長 杉下由輝

第8期寒川町まちづくり推進会議が公募、選考した「協働」のシンボルマークについて、今後、町が協働事業のPR等に活用し、町民が協働を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与することを期待します。

1. 「協働」に関する現状について

寒川町のあらゆるところで協働は行われていますが、平成28年に、第4期寒川町まちづくり推進会議が実施したアンケートにて「まちづくりへの参画や協働に興味がありますか」という問いに対し、62.4%の町民が「あまり興味・関心がない」「興味関心がない」「分からない」と回答したことから、協働への認知度・関心度の低さが課題としてありました。

2. シンボルマーク募集の経緯

「協働」について、町民に広く周知するため、町で協働事業を行っている場所や、ボランティア団体のホームページ、事業の周知パンフレット等に共通のマークを掲示することで、町民が「協働」への興味・関心を持つきっかけになるのではないかと。強いては、協働事業に参加するきっかけになり、地域の絆が深まることを期待し、本事業を実施しました。

添付資料の通り要項を作成し、募集期間を7月1日から8月31日の62日間とし、夏休み期間に合わせることで、学生から応募しやすくしました。また、応募方法について、紙媒体だけでなく、電子申請も可能とし、SNSを用いて町外の方にも広く呼びかけることが出来ました。

<ご意見の抜粋>

- ・町に関心を持つきっかけになるため、町内外問わず募集をかけるべき。
- ・ユニバーサルデザインの観点から、ターゲットを絞りすぎず、老若男女、国籍を問わず、分かりやすいマークにすべき。
- ・町に関心を持ってもらうためにも、団体等から協賛いただき「さむかわ魅力セット」を作り、副賞にしてはどうか。

- 「協働」という言葉は馴染みが無い人が多く、またお子さんも募集対象なので、募集チラシでは「協働（きょうどう）」とし、表現も柔らかくすべき。協働の具体例も載せるべき。
- 選定される作品は大人のものになる可能性が高いと思うので、子どもを対象とした賞を作るべき。記念品でもいいので、子どもに感謝の気持ちや頑張ったねという気持ちを示すことで、「応募して良かった」と思えるようにしたい。

3. シンボルマークの選考について

71人（96作品）の応募作品の中から「協働（地域の絆）を身近に愛着を感じられるか」「寒川町らしさ（おだやかさ、やさしさ、あたたかさ等）を感じられるか」「オリジナリティがあり時代・特定の人物等に関わらず、永続的に使えるか」の3つの観点で選考しました。最優秀賞の作品を「協働」のシンボルマークとして、町の協働事業のPR等に活用していただくことを期待します。

町内応募者	66人（82作品）
町外応募者	5人（14作品）

小・中・高・大学生	58人（72作品）
一般	13人（24作品）

4. シンボルマーク受賞作品

幅広い層の応募者に受賞の機会を与えるため、最優秀賞以外に「高座賞」と「さむかわ未来賞」の2つの賞を授与しました。当初、「さむかわ未来賞」は小中学生対象の賞でしたが、高校生、大学生にも受賞の機会を与えたいという意見から、「さむかわ未来賞」は小学生の部、中学生の部、高校生の部、大学生の部としました。

最優秀賞



工藤 和久 様（青森県弘前市）

寒川町の「S」の文字を基調に協働で手をつなぎ、輝く町民の笑顔で「寒川町・協働のまちづくり」を象徴的に表現しました。暖色系の色は元気、活気で協働の明るさ、楽しさ、充実感をイメージしました。現代的で、シンプルで、親しみやすく多くの人々に長く愛されるデザインです。また、縮小、単色、白黒にも耐えられ、いろいろと多用途な使い方が出来ます。

高座賞

～寒川らしさを感じる作品～



居関 孝男 様（京都府京都市）

鉢から伸びる三つ葉のクローバーをアレンジして、「寒川」の「さ」として描きました。葉の部分の笑顔から「協働」の意、そして寒川神社の八方除けから八角形の鉢としてあります。



居関 孝男 様（京都府京都市）

「さむかわ」の文字を用いてその各々が協働に取り組む様を表しました。「む」と「か」の吹き出しで身近なまちづくりに対する会話の意、そしてロゴタイプを加え分かりやすくしてあります。



工藤 和久 様（青森県弘前市）

寒川町の「サ」の文字を基調に協働で温かく輝く町民の笑顔で「寒川町・協働のまちづくり」を象徴的に表現しました。暖色系の色は元気、活気で協働の明るさ、楽しさ、充実感をイメージしました。現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くの人々に長く愛されるデザインです。また、縮小、単色、白黒にも耐えられ、いろいろと多用途な使い方が出来ます。



工藤 和久 様（青森県弘前市）

寒川町の花「水仙」を基調に協働で優しく、温かく、花咲く町民の笑顔で「寒川町・協働のまちづくり」を象徴的に表現しました。明るい笑顔で協働の元気、活気、楽しさ、充実感を明快にイメージしました。現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くの人々に長く愛されるデザインです。また縮小、単色、白黒にも耐えられ、いろいろと多用途な使い方が出来ます。



前田 新一 様（神奈川県高座郡寒川町）

町民が寒川町で協力し合って過ごせる願いを表現。

さむかわ未来賞

～寒川町の未来を感じる作品～

小学生の部



石井 瑠夏 様（神奈川県高座郡寒川町）

わたしは、すきなものやばしょが、きたないとやです。
なのでポイすて×などきほんは、そうなので、かんやたばこ
に×を書きました。

中校生の部



高橋 明里 様（神奈川県高座郡寒川町）

一緒に活動する仲間をイメージ。
寒川町のまちづくりとヒマワリを協力して花を咲かせていく
ようなあたたかいシンボルマークにしました。

高校生の部



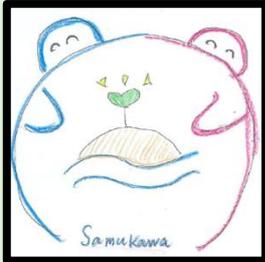
神部 煌乃 様（神奈川県高座郡寒川町）

協働の「協」という漢字を、寒川町の「さ・む・か・わ」という
平仮名で表しました。寒川が大好きな人達と町が協力する
様子を、文字を一体化させることで表現しています。
色は寒川の豊かな緑をイメージしています。

さむかわ未来賞

～寒川町の未来を感じる作品～

大学生の部



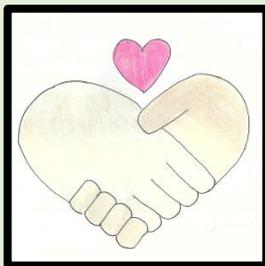
大高 恵梨佳 様（神奈川県横浜市）

人々が協力して、町を活性化するイメージで作成しました。中心を流れるのは寒川の川です。寒川ならではの自然を守りながら成長していく様子もイラストに取り入れました。



大高 恵梨佳 様（神奈川県横浜市）

町の花、スイセンをモチーフに作成しました。地域の人々の手（協働）によって、町の自然が活性化していくことを希望して考えました。スイセンの花の中心には、川が流れており、葉（手）の部分と川の部分の2色は、個人の色を意味しています。



清田 梨美 様（神奈川県茅ヶ崎市）

地域の絆を握手で表し、それをハート形に見立てました。またその上にハートを付けることで、協働によって生まれる人々の繋がりや、そこから感じられる嬉しい気持ちを表現しました。



清田 梨美 様（神奈川県茅ヶ崎市）

寒川町の頭文字の“S”をもとにハートの形を作り、人々の温かい気持ちを表しました。また、寒川町の花、木、鳥がすいせん、もくせい、ダイサギと全て何かしらの黄色が含まれていたため、黄色を使用しました。

5. 表彰式

令和6年2月23日（金・祝）に表彰式を開催。受賞者8人の内、6人にお越しいただき、表彰状と副賞を授与しました。

受賞者からのコメント

最優秀賞・高座賞 工藤 和久 様（当日欠席）

表彰式には母の介護のため、家を空けられないので欠席となることを御了承ください。寒川町は「浜降祭」「釣手土器」「スイートピー」など自然と歴史に恵まれた緑美しいまちだと聞いています。この先機会がありましたら是非伺いたいと思います。このシンボルマークが町民の皆さまに長く愛されることを北国・津軽の地から願っています。

高座賞 前田 新一 様

私たちだけでなく、他県からも応募いただけたことに対し嬉しく思います。今後もそのようなつながりが出来れば良いと心から思います。

さむかわ未来賞 小学生の部 石井 瑠夏 様

表彰式に出ることが出来、嬉しかったです。

さむかわ未来賞 中学生の部 高橋 明里 様

大変嬉しく思います。

さむかわ未来賞 高校生の部 神部 煌乃 様

皆様の素敵な作品を見ることが出来、貴重な経験をさせていただきました。

さむかわ未来賞 大学生の部 大高 恵梨佳 様

町外からの参加でしたが、マークを考える中で、寒川町の良いところについて気づくことが出来、非常に良い機会となりました。

さむかわ未来賞 大学生の部 清田 梨美 様

今まで協働について知りませんでした。役場で働いている姉から話を聞き、応募させていただきました。寒川町や協働について調べることが出来、良い機会となりました。



6. 協賛について

寒川町まちづくり推進会議委員が各企業・大学等へ依頼し、11社等から協賛をいただきました。次の表の通り、協賛品は副賞や参加賞とし、協賛金は高座賞の副賞を購入したほか、欠席された受賞者への副賞等の送料、及び参加賞の送料等に使用しました。

賞		人数	副賞
最優秀賞		1	シンビジウム 菓子「焼きちよこ」1箱
高座賞		3	菓子
さむかわ未来賞	小学生の部	1	スケートボード初級スクール券 ボルダリング体験親子ペアチケット
	中学生の部	1	菓子「焼きちよこ」各2個
	高校生の部	1	QUOカード 菓子「焼きちよこ」各2個
	大学生の部	2	菓子「焼きちよこ」各2個
参加賞	小学生 中学生 高校生 大学生	58	ボウリング1ゲーム無料券 クリアファイル・自動車ペーパークラフト
	一般	13	ボウリング1ゲーム無料券 メモ帳
児童クラブへのお礼			水(24本入)17箱

協賛一覧（協賛元 五十音順・敬称略）

	協賛品・協賛金	数量	協賛元	提案委員
1	シンビジウム	1 鉢	井出洋らん園	小菅
2	協賛金	1 万円	くすのき在宅診療所	大森
3	ボウリング 1 ゲーム 無料券	8 0 枚	寒川セントラルボウル	金子洋一
4	スケートボード 初級スクール券	2 枚	THE PARK SAMUKAWA	橋口
5	水（2 4 本入）	1 7 箱	（株）湘南総合研究所	杉下
6	協賛金	1 万円	スマイルコネクト デンタルクリニック	大森
7	協賛金	1 万円	せせらぎこども クリニック	大森
8	QUO カード	3 枚	多摩大学（安田震一）	安田
9	クリアファイル・自動 車ペーパークラフト	各 6 0 枚	日産工機株式会社	吉田
10	ボルダリング体験親 子ペアチケット	2 組	Bouldering Gym HANN	橋口
11	焼きちょこ・送料	1 箱（1 0 個入） 1 0 個（個包装）	ラメール洋菓子店	杉下

※ 町からはメモ帳 1 3 冊を提供。

7. 結び

この度、「協働」のシンボルマークの募集を行ったところ町内66人（82作品）町外5人（14作品）合計71人（96作品）と、多くの応募がありました。その要因としては、子どもからも応募して欲しいと考え町内児童クラブに協力を依頼したことや、子ども生涯学習情報紙「すきっぷ」に掲載したこと、また自治会回覧やSNS、デジタルサイネージ、チラシ配架、広報さむかわなど多様な周知を行ったこと、委員が所属する団体等に声かけをしたことがあげられます。さらに、委員自らが店舗や企業等にアプローチすることで多くの協賛をいただき、副賞とすることも出来ました。

また、青森県や京都府、横浜市、茅ヶ崎市など町外からも応募があり、他市町に住む方々との協働事例になったことから、これまでの寒川町まちづくり推進会議とは異なる成果が得られました。「作品についての説明」を詳細に記入し、応募してくださった方もおり、町内外の方が寒川町について調べ、愛着を持つきっかけになったと考えます。「協働」の認知度・関心度の低さの課題に対しては、今回の取組みをきっかけに「協働」という言葉を認知した方が増えたと考えます。

本事業により、寒川町や「協働」について調べてくださった方、表彰式や副賞をきっかけに寒川町にお越しいただいた方がいることから、寒川町の「協働」の推進に寄与できたと考えます。今後は、町で協働事業を行っている場所や、ボランティア団体のホームページ、事業の周知パンフレット等に、「協働」のシンボルマーク（最優秀作品）を掲載することで、町民が「協働」を知り興味を持つきっかけを作り、強いては、町民が「協働」を身近に感じられるまちづくりの一助になることを期待します。

(添付資料)

2-1 寒川町「協働」のシンボルマーク 募集要項

2-2 「協働（きょうどう）」のシンボルマークを募集します：募集チラシ

寒川町「協働」のシンボルマーク募集要項

1. 募集内容 寒川町の「協働」のシンボルマーク
2. 目的 協働のシンボルマークを公募し、本町の協働事業のPR等に活用することで、町民が協働を身近に感じられるまちづくりを推進するため
3. 主催者 第8期寒川町まちづくり推進会議
4. 応募期間 令和5年7月1日（土）～同年8月31日（木）必着
5. 応募資格 寒川町のことが好きな方・関心のある方ならどなたでも
6. 応募方法 応募用紙、もしくはA4判白色用紙等に、作品、及び必要事項を記入の上、応募先に持参、郵送、電子申請で応募。
また、用紙1枚につき1作品とし1人何点でも応募可。

必要事項：住所／氏名（ふりがな）／年齢／電話番号／
メールアドレス／職業・学校名
／作品についての説明（100文字以内）

- 作成要領
- ① 応募用紙、もしくはA4判白色用紙（上下を明記）を使用する。
 - ② 画材・色数は自由。ただし、単色でも使用できるデザインとする。
 - ③ パソコンで制作した場合は、JPEG、PNG、GIF等（lzh, sit, tar, tgz, cabRar, iso 以外）の形式でかつ、20MB以内の画像サイズとし電子申請する。

7. 選考方法 第8期寒川町まちづくり推進会議にて、選考する。

8. 入 賞

賞の名称	内容	人数	賞状	副賞	
最優秀賞	協働のシンボルマークとして、寒川町に提言します。	1名	○	さむかわ魅力セット	
さむかわ未来賞	寒川の未来を感じる作品を表彰します。(中学生以下を対象)	若干名		○	記念品
高座賞	寒川らしさを感じる作品を表彰します。				

9. 発 表 寒川町まちづくり推進会議で選定後令和5年12月(予定)に入賞者に通知し、寒川町ホームページ等で発表予定。

10. 表 彰 令和6年2月(予定)に入賞者には表彰状と、最優秀賞には「さむかわ魅力セット」、他の賞には「記念品」を授与。

11. 注意事項
- ① 応募する作品は、自作・未発表の作品とする。
 - ② 応募作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は、町に帰属する。
 - ③ 最優秀作品は、協働を推進する活動に活用する。
 - ④ 応募作品を補作、修正、翻案する場合がある。
 - ⑤ 応募作品は、返却しない。
 - ⑥ 応募者の個人情報、作品選考及び連絡等以外の目的には一切使用しない。
 - ⑦ 応募作品の発表時に、作成者の氏名を公表するため、未成年者が応募する場合は親権者等(法定代理人)の同意(署名)を得たうえで応募すること。



『協働（きょうどう）』の シンボルマークを募集します

あなたのアイデアで
「協働（きょうどう）」を分かりやすく
デザインしてみませんか？

8/31必着

応募内容
応募期間
応募資格
応募方法

寒川町の「協働（きょうどう）」のシンボルマーク

令和5年7月1日（土）～同年8月31日（木）必着

寒川町のことが好きな方・関心のある方ならどなたでも

応募用紙、もしくはA4判白色用紙等に、作品、および必要事項を記入の上、**応募先に持参、郵送、または電子申請してください。**
また、用紙1枚につき1作品とし1人何点でも応募できます。

必要事項

① 住所 ② 氏名（ふりがな） ③ 年齢 ④ 電話番号 ⑤ メールアドレス
⑥ 職業・学校名 ⑦ 作品についての説明（100文字以内）

応募規定

- ・ 応募用紙、もしくはA4判白色用紙（上下が分かるように）を使用してください。
- ・ 画材・色数は自由ですが、単色でも使用できるようにしてください。
- ・ パソコンで制作した場合は、JPEG、PNG、GIF等（lzh、sit、tar、tgz、cab、rar、iso以外）の形式でかつ、20MB以内の画像サイズとし、電子申請してください。



入賞

最優秀賞 : 寒川町の協働（きょうどう）のシンボルマークとして使用します。 (1名)
さむかわ未来賞 : 寒川の未来を感じる作品を表彰します。(中学生以下対象) (若干名)
高座賞 : 寒川らしさを感じる作品を表彰します。 (若干名)

発表

寒川町まちづくり推進会議で選定後、令和5年12月（予定）に入賞者に通知します。
寒川町ホームページおよび広報さむかわで、氏名（居住地）を発表予定です。

表彰

令和6年2月（予定）に入賞者には表彰状と、最優秀賞には「さむかわ魅力セット」他の賞には「記念品」を授与します。

注意事項

- ・ 応募する作品は、自作・未発表の作品とします。
- ・ 応募作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は、町に帰属するものとします。また、応募者は該当作品に関し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ・ 最優秀作品は、協働を推進する活動に活用します。
- ・ 応募作品を補作、修正、翻案する場合があります。
- ・ 応募作品は、返却しません。
- ・ 応募者の個人情報、作品選考、及び連絡等以外の目的には一切使用しません。
- ・ 応募作品の発表時に、作成者の氏名を公表するため、未成年者が応募する場合は、親権者等（法定代理人）の同意（署名）を得たうえで応募すること。

応募先

寒川町まちづくり推進会議（寒川町 町民協働課内）
〒253-0196 寒川町宮山165 電話：0467-74-1111（内線732）
メール：kyoudou@town.samukawa.kanagawa.jp

なぜ「協働（きょうどう）」のシンボルマークが必要なの？？

「協働（きょうどう）」とは

さむかわが大好きな人達と町が、協力してまちづくりをすることです。

この「協働（きょうどう）」は、寒川のいろいろなところで行われています！

- 幼稚園・保育園での音楽活動
- 公園の花壇に花を植える活動
- 川沿いや公園の清掃活動
- 野良猫を減らす活動 など

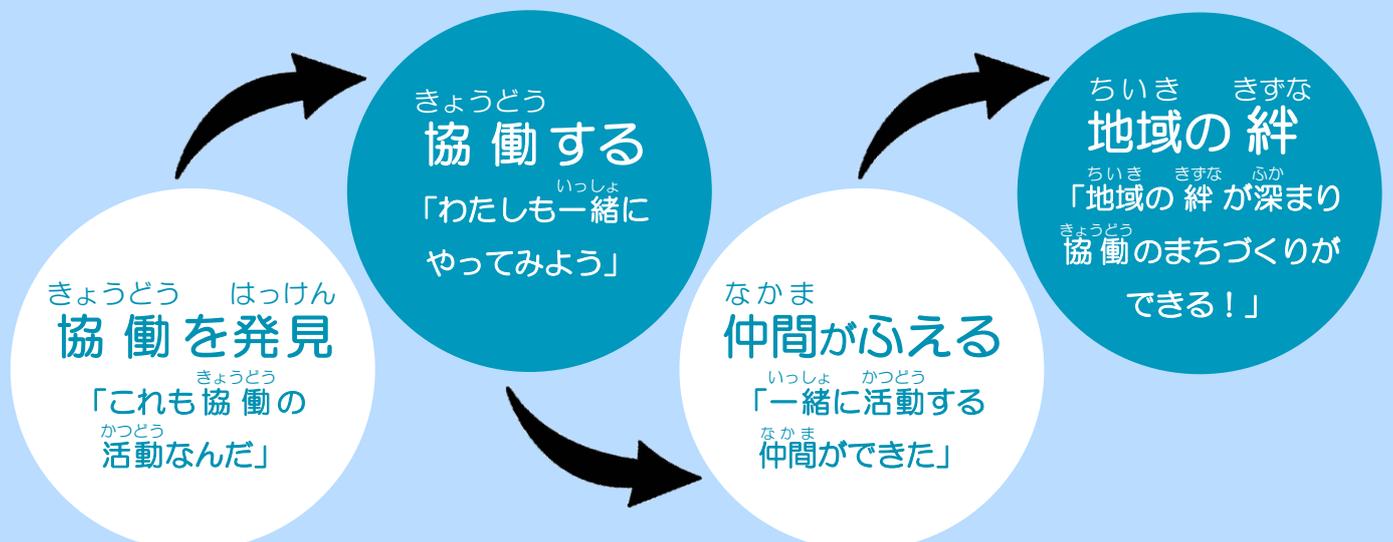


でも、これらの活動が、寒川が大好きな人達との

「協働（きょうどう）」によって行われていることはあまり知られていません・・・

そこで「協働（きょうどう）」のシンボルマークを考えて！

「協働（きょうどう）」のシンボルマークができると・・・



シンボルマーク応募用紙

1枚につき1作品とし、何点（何枚）でもご応募できます。
応募締切：令和5年8月31日（木）必着

住 所			
ふりがな		年 齢	
氏 名		電話番号	
メールアドレス		職 業	
親権者（法定代理人）氏名 ※作成者が未成年者の場合		学校名・学年	
作品についての説明（100文字以内）			

公募委員サロンに係る報告書

寒川町まちづくり推進会議
会長 杉下由輝

第8期寒川町まちづくり推進会議において開催した公募委員サロンについて、検討・実施した事項を報告するとともに、町が今後この報告書にある内容を公募委員の増加に向け、生かしていくことを期待します。

1. 各種審議会等の公募委員の現状について

各種審議会等の公募委員については「寒川町自治基本条例」に基づく「寒川町審議会等の委員の公募に関する規則」により定められており、この規則に基づき、町は公募の委員を募集しています。審議会等により公募委員の人数は異なりますが募集をかけても公募委員の枠が埋まらない審議会等も散見される状況です。

2. 公募委員サロン開催の経緯

第8期まちづくり推進会議では、この現状を打破するべく、公募委員を務めている方に出席いただき、懇談できる事業を企画しました。公募委員としてのやりがいや委員になったきっかけなどについて話し合うことで横のつながりを作り、また、他の審議会等について知る機会を創出し、公募委員の応募数増加を期待して、公募委員サロンを開催しました。

<開催に至るご意見の抜粋>

- ・公募委員という制度自体、町民に知られていないのではないか。広報紙を見ても自身には関係ないと、読み飛ばしている人が多いと思う。
- ・こんな意見を言っているのか、的外れではないかと、審議会等で発言する事をためらってしまう。
- ・周りに公募委員を務めた経験のある人がいないので、不安がある。
- ・他の公募委員と知り合えば、公募委員が身近になると思う。知り合いがいれば、話のきっかけにもなる。
- ・「寒川を良くする」というゴールに向かって、様々な審議会等が活動している事を知るきっかけになる。
- ・公募委員の素朴な意見がヒントになることもあるので、公募委員は大切。
- ・まちづくり推進会議のように委員同士「〇〇さん」と呼び合い、和気あいあいと活動している審議会等がある事を知ってもらう。

3. 概要・アンケート

公募委員サロンの概要は添付資料のとおりです。参加した公募委員は、グループワークにてそれぞれの審議会等での議論の内容や、公募委員として参加した経緯などを話し合い、最後にグループごとに発表し、全体で意見の共有を図りました。普段、関わりのない審議会等もあり、参加した公募委員からは様々な意見や感想が寄せられました。

まちづくり推進会議の委員も、各グループの議論に入り、気付きや意見を交わしました。初めての取り組みであったため、まちづくり推進会議の委員としても開催して気付いた点等があり、次のとおり簡単にまとめます。

- ・グループワークを始める前に、各審議会等の紹介をした方が良かった。
- ・15名の申し込みがあり、2名が欠席し、参加者は13名となった。まちづくり推進会議の委員9名も各グループに加わり、1グループ7～8名で3つに分かれグループワークを行ったが、参加者の意見交換が活発で、時間が足りないぐらいだった。
- ・開催日が年度当初であったため、まだ開催されていない審議会等もあった。しかし、アンケート結果では年度当初で良かったという意見が多かった。
- ・各グループの司会進行を寒川町まちづくり推進会議の公募委員の女性が務めたことにより、意見を出しやすい雰囲気となった。

<課題・反省点等>

- ・公募委員を務めている方にご参加いただいたが、今後は公募委員を務めたことがない町民や、公募委員自体を知らない町民に、サロンへの参加を呼びかけ、公募委員について理解していただき、応募につなげていく。
- ・公募委員の募集方法や、周知の方法についても、町へ提言し、応募者を増やす手助けをしていく。
- ・サロンという名称が理解しづらい。
- ・机上配布の資料等についての説明が不足していた。
- ・午後3時開始だとスケジュールが立てづらい。

4. 今後

初めての開催となる公募委員サロンを検討していく中で、新たな公募委員へアプローチするための周知方法について課題が残りました。現在、公募委員を務めている方には公募委員サロンへの参加の呼びかけができますが、そもそも公募委員について知らない方や興味のない方に対してどのようにアプローチし、公募委員の応募につなげるのか、今後は町と共に、周知・企画・運営を進めていきたいと考えます。

現在も審議会等では公募委員の欠員が続いています。公募委員について、広く町民に周知し、町民が意見や考えを伝える重要な機会であることを広めていく必要があります。

公募委員サロンは、寒川町をどのように住みやすくしていくか考えるにあたり、接点となる、あまり聞かない良い取り組みなので、今後も継続していくべきだと考えます。今回の結果を踏まえ、改善された公募委員サロンを今後も開催し、町民の方の町政運営に対する参画の一助となることを願います。

(添付資料)

- 3-1 公募委員サロンへのご案内について（通知）
… 対象者への案内通知と招待状
- 3-2 公募委員サロン実施要項
- 3-3 公募委員サロン次第
- 3-4 公募委員サロン実施報告書
- 3-5 公募委員サロン参加者アンケート結果
- 3-6 公募委員サロンまちづくり推進会議委員アンケート結果

令和5年3月2日

寒川町審議会
公募委員の皆様へ

寒川町まちづくり推進会議
会長 杉下 由輝

寒川町 町民協働課長

公募委員サロンへのご案内について（通知）

この度、「寒川町まちづくり推進委員会議」では、公募委員同士が交流を深められる場として「公募委員サロン」を開催いたします。

そこで、現在、ご活躍中の公募委員の皆様へ、この通知と招待状を送付しています。趣旨をご理解いただき、お気軽にご参加いただければ幸いです。

別添、出欠席の回答用紙を、同封しておりますので、誠に勝手ではあります。4月7日（金）までにご連絡をお願いします。

～公募委員サロンとは～

町の審議会では、町政に町民の方のご意見を反映するために、皆様に公募委員として会議に参加していただいております。

これらの審議会の会議は、個別に行われるため、他の審議会がどのような会か、どのような方が公募委員として参加しているか、知る機会はほぼありません。

そこで他の審議会の公募委員の方と、交流できる場として「公募委員サロン」を開催します。

審議会の一つである「寒川町まちづくり推進会議」の委員が、主催者として、皆様をお迎えしますので、ぜひ、お気軽にご参加ください。

公募委員サロン開催日時

日 時 5月23日（火）午後3時～5時

場 所 町民センター1階 展示室1

※ 詳細は、別添「公募委員サロンへの招待状」にてご確認ください

事務担当：寒川町 町民協働課 協働推進担当

電 話：0467-74-1111（内線291）

F A X：0467-74-9141

メー ル：kyoudou@town.samukawa.kanagawa.jp

〇●〇 公募委員サロンへの招待状 ●〇〇

～つながる・知り合う・共感する～

公募委員としてのやりがいや達成感
感じた思いや不安などについて
ざっくばらんにおしゃべりしませんか??
あなたのご参加、心よりお待ちしております！



日 時	令和5年5月23日（火）午後3時～5時 (受付開始 午後2時30分～)
会 場	町民センター1階 展示室1
内 容	参加者同士の交流や懇談（自己紹介・意見交換など）
対 象 者	令和5年に審議会の公募委員を務めている方 (この招待状が届いた皆さま) 新たに公募委員になった方もお待ちしております
参 加 費	無料
主 催	寒川町まちづくり推進会議

～寒川町まちづくり推進会議とは～

町民と町が協働することを基本理念として掲げた
寒川町自治基本条例のもと設置された審議会です



まちづくり
推進会議について
詳しくはこちら

回 答 **令和5年4月7日（金）まで**

寒川町まちづくり推進会議事務局(町民協働課)へご連絡ください。
回答方法については、別紙をご覧ください！

※ 当日は、サロンの参加者となるため、報酬のお支払いはありません。

出欠席のご連絡について

4月7日(金)までに、出欠席について
寒川町まちづくり推進会議事務局まで、ご回答ください。

回答方法 郵送、電話、FAX、メール、直接提出のいずれかの方法

連絡事項

「公募委員サロンへの出欠について」と記載(又はお知らせ)してください

- ① 出欠席
- ② 住所
- ③ 氏名(ふりがな)
- ④ 現在所属している審議会名
- ⑤ 電話番号
- ⑥ メールアドレス



メールは
こちらから

提出先 寒川町まちづくり推進会議事務局(寒川町 町民協働課)

住所: 〒253-0196 寒川町宮山165

電話: 0467-74-1111 (内線291)

FAX: 0467-74-9141

メール: kyoudou@town.samukawa.kanagawa.jp

5月23日(火) 公募委員サロン 回答用紙

出席 ・ 欠席 します ※ いずれかに✓を入れてください

住所	〒
氏名(ふりがな)	()
所属している審議会名	
電話番号	
メールアドレス	

回答期限: 4月7日(金)まで 25

公募委員サロン 実施要項

1. 目的 審議会等で活躍している公募委員の方が、日頃感じている考えや思いを共有し意見交換することで、様々な審議会等について理解を深め、審議会等の公募委員数の増加を目指す
2. 開催日時 令和5年5月23日（火）午後3時～5時
3. 場所 町民センター1階 展示室1
4. 内容 ① 自己紹介
② 懇談
 - ・公募委員としての不安を共有し、その解決策を話し合う
 - ・参加者が所属する／所属していた審議会等について、共有する
5. 対象者 令和5年に審議会等の公募委員を務めている方
6. 主催者 第8期寒川町まちづくり推進会議
7. その他 ○参加者へのアンケートの実施
○結果については、寒川町まちづくり推進会議の報告書「町長への提言書」としてまとめたものを町長へ報告

公募委員サロン

～つながる・知り合う・共感する～

日 時 5月23日（火）午後3時～5時
場 所 町民センター 展示室1

午後3時～3時10分	開会あいさつ・趣旨説明
午後3時10分～4時10分	自己紹介（グループごと）
	懇談（グループごと）
午後4時10分～4時45分	情報発表（グループ代表者） 意見交換
午後4時45分～4時55分	総括兼閉会あいさつ
午後4時55分～5時	アンケート



事務担当：寒川町 町民協働課

電 話：0467-74-1111（内線 731）

メー ル：kyoudou@town.samukawa.kanagawa.jp

まちづくり
推進会議について
詳しくはこちら



公募委員サロン 実施報告書

実施日時：令和5年5月23日(火)午後3時～5時

実施場所：町民センター1階 展示室1

目的：審議会等で活躍している公募委員が、日頃感じている考えや思いを共有・意見交換することで、様々な審議会等について理解を深め、審議会等の公募委員数の増加を目指す。

対象：令和5年に審議会等の公募委員を務めている方

参加者：公募委員13人、まちづくり推進会議委員12人、事務局職員5人

グループ	参加者の所属する審議会名
A	総合計画審議会
	文書館運営審議会
	生涯学習推進会議
	社会教育委員会議
B	総合計画審議会
	介護保険運営協議会
	環境審議会
	下水道運営審議会
C	介護保険運営協議会
	スポーツ推進審議会
	さむかわ元気プラン推進委員会
	地域自立支援協議会
	地域福祉計画推進会議

主催：第8期寒川町まちづくり推進会議

実施内容（5月23日(火)）

時間	内容	担当者
午後2時30分～3時	受付	事務局
午後3時～	公募委員サロン開始	橋口副会長（全体の進行）
午後3時～3時5分	開会挨拶・趣旨説明	杉下会長
午後3時5分～4時10分	<ul style="list-style-type: none"> ● グループごとに自己紹介 ● グループごとに懇談 	<ul style="list-style-type: none"> ● Aグループ 進行:山下委員 補佐:大森委員 ● Bグループ 進行:星委員 補佐:小菅委員、吉田委員 ● Cグループ 進行:中島委員 補佐:金子巖委員 小泉委員、織田委員
午後4時10分～4時50分	<ul style="list-style-type: none"> ● グループの代表者が懇談内容を発表 ● 全体で意見交換 	進行:杉下会長
午後4時50分～4時55分	総括・閉会挨拶	安田委員
午後4時55分～5時	アンケート記入	



グループごとに懇談



全体で意見交換



総括・閉会挨拶

資料3-5

公募委員サロン 参加者アンケート結果

① 参加者アンケート結果(単位:人) 参加者13人(回収率100%)

1.ご年齢をお選びください	20代	1
	40代	1
	50代	1
	60代	3
	70代	7
	合計	13

2.全体的にいかがでしたか	とても良かった	7
	良かった	5
	未回答	1
	合計	13

3.他の参加者と交流できましたか	出来た	9
	少し出来た	4
	合計	13

4.ご自身の公募委員としての不安や気持ちを共有できましたか	出来た	7
	少し出来た	4
	あまり出来なかった	2
	合計	13

5.他の審議会等について知ることが出来ましたか	たくさん知ることが出来た	5
	知ることが出来た	6
	あまり知ることが出来なかった	1
	未回答	1
	合計	13

6.気になる審議会等がありましたか(複数回答)	総合計画審議会	6
	生涯学習推進会議	6
	まちづくり推進会議	5
	社会教育委員会	5
	地域自立支援協議会	4
	文書館運営審議会	4
	介護保険運営協議会	3
	環境審議会	3
	さむかわ元気プラン推進委員会	3
	美化センター運営委員会	2
	地域福祉計画推進会議	2
	地域公共交通会議	2
	スポーツ推進審議会	1
	下水道運営審議会	1
その他 (自由記述：海外の方に向けての何か)	1	
合計	48	

7. 参加後、公募委員として心境・モチベーションの変化はありましたか	
心境の変化がありました。各委員の存在は知っていたが、実際にお会いすることで共に町を担っている実感が湧きました。総合計画審議会の立場としても、各委員の意見と照らし合わせていかないと、実情の乖離が起きてしまうのではないかと感じました。	
皆さん、とても意見を積極的に発言されていて、モチベーションUP。ちがう物の見方ができた。年度の頭の実施はとても有用である。	
若い方から年配までの交流という願いがあったので、いろいろな話を聞くことができ大変良かった。	
積極的な委員の方々の意見が参考になった。	
Aグループの中で、若い人・高齢の人からいろんな方向性の意見が出て、とても良かったと思います。◎7名:自分の言葉でザックバラに話せたことが何より良かったです。◎この集まりは、再々企画していただくとつながって行くと感じます。	
他の公募委員の方々と話しをしたり、話をきいて、もっとアンテナをはりながら情報を得て、それを他の人たちに伝えていきたいと思います。	
最低限のモラルをもって委員を受けているので変化はないが楽しかったです。	
公募委員として審議会にしっかり向き合うこと。	
さらなる motivation は得られなかったが、他委員に対する向上を望めたのではないかと海外の方や避難にきている方に向けて、何かやりたいです。	

8. 参加した感想、良かった点・改善点等ありましたら、ご記入ください	
参加した感想	参加し、自分の目では見れていない現状や現場を知ることができ非常に貴重な会になりました。このような取り組みを続けていくことで、より良い町づくりになると思いました。また、若い世代の参加者が増えるといいなと思いました。
	情報の共有、情報発信の重要性を認識させられました。
	今回一回だけでなく、活動を実施したあとの公募委員サロンがありましたらいいと思います。
	メンバーが意見を言っても否定することがなく、気持ちよく参加できました。
	現状に又は少し良くしていくことに全力を上げているのは良く理解できたが、さらに一歩上に行くにはどうする“各委員”の自問！
	また参加させてください。ありがとうございました。
	グループが少人数で話が良く通じた。次回の公募委員サロン期待しています。
	広報が必要だと感じた(活動報告)→もっと多くの方に公募委員として参加して欲しい。
良かった点	時間の配分、内容とも、年度初めととっかかりとしてジャストサイズ。ファシリテーター、司会も良かった。
改善点	各審議会、委員会の簡単な紹介が欲しかった。グループの中の人のお話しか聞けなかったのが、次回があれば、今回と違うメンバーに。

公募委員サロン まちづくり推進会議委員 アンケート結果

1. 開催日時はいかがでしたか
良いです。
15:00からだと私的スケジュールを立てにくい よって10:00頃から若しくは13:00頃から
初の開催だったので、時期は事前に周知してあり問題ないと思う。 時間も良かったです。
まちづくり推進会議メンバーとしては、何回か会議をした後なので、委員の方々のことが わかってきた時期でやりやすかったです。
2. 当日の流れについて 当日の流れ:1開会、2挨拶・趣旨説明、3自己紹介、4懇談、5まとめ、6閉会
1～6までの流れは妥当
2. 趣旨説明をもう少し丁寧に趣旨をある方が逸脱した様子が見られた
3. 自己紹介でサロンへの参加のきっかけと当サロンへ期待する事、目的が知りたかった
4. 懇談——所属している審議会でどの様な事をしている会なのかの紹介案内が聞きた かった又、内部の問題点、外部に相談したいことそれについてのアドバイスと良い方向性 に向かうためのプレゼントがしたかった
まとめ——ある程度の統一項目のまとめが聴きたかった
他、広報紙が置いてあった理由説明がなかった(どんな審議会があるかの提示???)
当日の流れはスムーズだったと思います。
3. 挨拶・趣旨説明の内容
皆さんの活動がわかりました
わかりやすくて良かったです
公募委員サロンをやるにあたって、会長より、話しやすい方向になるような例を挙げてく れて良かったと思います。
わかりやすかったです。
4. 懇談の内容
知らなかった審議会等の活動を聞くことが出来て、貴重な時間でした。
各審議会、協議会での取組みが寒川を良くする、したい目的を通じて、感じている所が一 緒だと思う所が多く、話に拳がり共感出来たと思います。
多くの方が不安というより、やりがいを持って委員をやっていらっしゃることがわかりま した。各審議会の内容は、詳細ではなくても直接お話を聞くことができ、有意義でした。

5 . 開催日当日のまちづくり推進会議委員の役割分担 司会者1名、挨拶・趣旨説明1名、各テーブルの進行3名、閉会挨拶をする人1名
回答無し

6 . その他 通知文、チラシ、実施要綱、アンケート等への意見、グループ分け等について
特にありません。良かったと思います。
広報への周知の方法を工夫し、分かりやすい、見やすい情報のスピードを良くした町民への発信へとつなげて頂きたい。
グループの人数は、もう少し少ない方が1人の人の話す時間が多く取れたと思います。

7 . サロン当日(必要な物品・内容・人数)などへのご意見
回答無し

8 . 全体的にご意見
今まで認識不足がはずかしかったです。今後の発展が楽しみです。
過去の公募アンケートの解説が欲しかった 今更ですがサロンという名称が理解しづらく、ヒットに乏しい
初めての開催のサロンで15名(当日2名欠席)の参加は素晴らしいと思いました。公募委員といってもそれぞれが活躍されていて、スゴイなぁ～と感じました。
初めての公募委員サロンとしては、いろいろな話ができ、成功だったと思います。今後も年に1回程度開催できたら良いと思います。今回出席できなかった公募委員の方々にも、サロンの様子をお知らせすれば、次は出席してみたいと考えていただけるのではないのでしょうか。

第25回まちづくり懇談会（オンライン開催）の報告について

1. 懇談会のテーマ

- まちづくりを地域の力で
～魅力あるまちを目指して～
- 生涯にわたって自分らしく
～福祉の充実を地域の力で～

2. 日時・会場

令和4年11月12日（土） 午後3時～5時
オンライン

3. 参加人数 10人

4. 町出席者、コーディネーター

木村町長、杉下コーディネーター（寒川町まちづくり推進会議会長）、
畑村副町長、戸村町民部長、岡野町民協働課長、
町民協働課協働推進担当職員（4人）

5. 傍聴人数 5人



第26回まちづくり懇談会の報告について

1. 懇談会のテーマ

- 子どもたちが輝けるまちへ
～子育てしやすいまちを目指して～
- 安全、安心に暮らせるまちを作るために
～協働して出来ること～

2. 日時・会場

令和5年11月12日（日）午後2時～4時
東分庁舎2階 第1会議室

3. 参加人数

7人

4. 町出席者、コーディネーター

木村町長、杉下コーディネーター（寒川町まちづくり推進会議会長）

畑村副町長、菊地町民部長、岡野町民協働課長、町民協働課協働推進担当職員（4人）

